

第29回 高齢社会への対応を探る
始まる医療・介護の大改革！
我孫子の高齢期の安心を考える

定員 当日先着550人

第1部 10月11日(土)
10月11日(土)
「改革の概要とゆくえ」

浅川澄一さん(福祉ジャーナリスト)

第2部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第3部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第4部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第5部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第6部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第7部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第8部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

第9部 10月17日(金)
10月17日(金)
「Ytork」あり

講師：辻哲夫さん(東大高齢社会総合研究機構特任教授) ※ミニコンサート

高齢者の肺炎球菌感染症およびインフルエンザの予防接種費用の一部を助成します

予防接種

接種に当たっては効果とリスクを考慮してお受けください

●高齢者肺炎球菌感染症予防接種

10月1日から高齢者肺炎球菌感染症予防接種が法定化されるため、助成制度が変わります。法定接種対象者は、65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上ですが、市では、65歳以上の方全てを対象とします。

助成開始日と回数 10月1日以降に生涯1回 ※過去に肺炎球菌感染症予防接種(23価)を受けたことがある方は対象外

自己負担額 2500円

その他 予診票は65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上の方にのみ送付します。その他の年齢で接種を希望する方は、ご連絡ください。

●高齢者インフルエンザ予防接種

接種期間・回数 平成27年1月15日(木)までに1回

自己負担額 1100円

その他 予診票は市内の委託医療機関に用意してあります。ただし、市外の千葉県内実施協力医療機関、県外契約医療機関で接種を受ける場合は、接種する前に必ずご連絡ください。

〈共通〉

接種場所 市内委託医療機関・千葉県内の実施協力医療機関、県外契約医療機関(JAとりで総合医療センター、宗仁会病院)も可 ※その他の医療機関で受診する場合はご連絡ください。

対象 接種日現在、我孫子市に住民登録をしている方で、次のいずれかに該当する方。①肺炎球菌は今年度65歳以上となる方、インフルエンザは昭和24年12月31日までに生まれた満65歳以上の方②60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の障害により日常生活が極度に制限される方、またはヒト免疫不全ウイルスによる重度の免疫の機能障害を有する方

※意思確認ができない方は全額自己負担

※生活保護受給世帯などの方は免除

接種方法 医療機関へ直接ご連絡の上、接種を受けてください。

持ち物 本人確認書類(保険証など)、予診票、費用、健康手帳(お持ちの方のみ) ※自己負担免除者の方は、「休日・夜間等医療受給証」または「本人確認証」

☎ 健康づくり支援課(保健センター) ☎7185-1126

10月・11月は千葉県麻薬・覚せい剤乱用防止運動月間です

麻薬、覚せい剤、危険ドラッグなどの薬物乱用は個人の健康の問題だけでなく、さまざまな犯罪の原因になります。決して薬物には手を出さない、薬物乱用を許さない社会を作りましょう。薬物に関する相談窓口「こころの健康相談」

市では、家族の心の問題やその悩みを語り合い、ご家族が楽になれる場所として「心の健康クラブ」を月1回開催しています。今月は、精神障害・疾患を抱えている方への関わり方について

心の健康クラブ 講演会
後2時〜4時(予約制)
松戸健康保健センター(松戸保健所) ☎047-361-2138

認知症の方の家族のこころのあびこ
ひとりでも悩まず、相談してみませんか。
日時 10月8日(水)午後1時30分〜3時30分
場所 けやきプラザ1階 工作室
内容 介護方法や日ごらの悩みなどについての情報交換
対象 認知症の方を介護している家族・介護経験者
費用 無料
☎ 高齢者支援課 ☎7185-1112

子宮頸がん・乳がん検診 無料クーポン券を配布しました

平成21~24年度に子宮頸がん・乳がん(マンモグラフィ)検診無料クーポン券の配布を受けたものの配布年度に未受診の方に、再度「がん検診無料クーポン券」を9月1日に送付しました。クーポン券が届かない方、転入者で対象に該当する方はお問い合わせください。対象 下表の生年月日の方で、過去に無料クーポン券の配布を受けたものの配布年度に市の対象検診を受診しなかった方

Table with 2 columns: 対象検診 (子宮頸がん検診, 乳がん(マンモグラフィ)検診) and 生年月日 (昭和63年4月2日 ~ 平成4年4月1日, etc.)

☎ 健康づくり支援課 ☎7185-1126

講演を企画しました。ぜひお越しください。
日時 10月20日(月)午後2時〜4時
場所 休日診療所2階会議室(保健センター敷地内)
講師 道塚喜美雄さん(こまきクリニック臨床心理士・精神保健福祉士)
対象・定員 精神障害・疾患をお持ちの方のご家族、先着20人
費用 無料
☎・☎ 10月16日(木)までに電話で障害福祉支援課・内線381

10月 各種健診と健康教室
●乳幼児の各種健診・相談・教室
●心の健康に関する教室
●デイケアクラブ
●遊具うんどう教室

健康メモ 360 感染症と白血球
ヒトの体に細菌やウイルスが感染するのを防ぐ白血球は主に顆粒球とリンパ球およびNK細胞です。顆粒球は細菌が体に侵入するとそれをたべて殺し援軍を呼びます。すると待機していた後続部隊が動員して血中の顆粒球数が急激に増えるのです。細菌が感染すると白血球が増えるのはこのためです。一方、体にウイルスが侵入するとリンパ球やNK細胞が対抗します。しかし、リンパ球やNK細胞には予備軍があまり多くないのでウイルスが感染しても急激に数を増やすことができません。むしろ消耗してその数は一時的に減少することのほうが多いのです。インフルエンザウイルスなどに感染した時に白血球が減少するのはそのためです。発熱などで感染症が疑われるときにはまず白血球数を調べるとその原因が細菌かウイルスかを鑑別するための一助となります。細菌性なら抗生物質が効く可能性があります。しかし、ウイルス性なら特殊な場合を除き抗生物質は無効です。発熱した時に医療機関で白血球数を調べる理由の一つは細菌感染の可能性を調べるため、無駄な薬を出さないために役に立っているのです。
天王台依田内科クリニック 依田安弘
☎ 健康づくり支援課 ☎7185-1126

●休日・夜間に病気になったら:消防署(☎7184-0119)に電話をしてください。休日・夜間救急病院、小児救急病院をご案内します。案内された病院に行く場合は、症状やけがの状態を病院に直接電話してから受診してください。※緊急の場合は迷わず☎119へ電話をしてください。※休日や深夜などの診察料は、割高になります。休日は日曜、祝日、年末年始